



一、わが思い旨く伝わらず心から泣きたいけれど顔は笑っている

一、蚊取り器とホットカーペットを
両方とも付けて安心秋寒くなる日

竹内 桃子



短歌

「自立生活」

古橋 宏章



現在、同級生や作業所の方も自立生活をしています。一般企業の方や画家をしている方は正式名称が分かりませんが訪問支援制度が受けられず夢である自立生活の妨げになっていて、障害の重さでケアが異なるので会社に相談しているそうです。

自分は早く自立生活したい気持ちはありませんでしたが病院の先生に「親がだんだん高齢になったらどうするの?」と言われ考えるようになりました。基本的に金銭感覚が無く不安で自信はありませんが、人工呼吸器を使用しているので病院の方が安全ですが時間が拘束されるので、現在訪問してもらっている看護師さん、ヘルパーさん、入浴サービスの方で、ヘルパーさんを24時間体制にもらって自立生活しようと考えています。もし無理な場合は療養型病院で生活しようと考えています。

「二人に期待」

柳原 昭三



7月の参議院選挙で、れいわ新選組から、特別枠で立候補をした重度障害を持っている木村さんと難病(ALS)の船後さんが当選したということを知りました。僕は、重度障害者でも国会議員になれるという事を証明してくれて、国会議員のドアの鍵を開けてくれた人たちだと思いました。

他の議員の中で、これまで重度障害をもっている人たちと話したことがなかった議員もいたかも知れません。これからは同じ議員に、木村さんと船後さんがいることで、徐々に障害をもっている人たちのことを理解してくれる議員が増えることを期待しています。

木村さんと船後さんには、6年間参議院議員として、しっかり勤めを果たしてほしいです。これからいろんな障害者団体とかいろんな障害者から陳情書や要望とかが来ると思います。

二人は、これからの日本の障害者福祉政策において、重要なキーパーソンになる人たちだから頑張ってもらいたい。

とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所 とうたす班

〒187-0033 小平市川島町3-8

No.318 TEL 042(349)2366 toutasu@asayake.or.jp

2019年9月20日 http://www.asayake.or.jp/kaze.html



「2020 東京大会」

亀井 賢太郎

2020年の東京で開かれるオリンピック・パラリンピックの開幕まで、1年を切りました。日本選手の活躍を期待しています。僕が一番期待している競技は、陸上・水泳・テニス・バドミントン等です。僕は格闘競技形と、審判の判定で決まる競技は、あまり好きではありません。一番好きな競技は陸上です。陸上はいろんな競技が見られるし、一発で決まる競技が多いからです。

でも日本選手はプレッシャーに弱いから、期待してもがっかりしてしまうことの方が多いです。折角日本で開かれるのだから、日本選手を頑張ってもらいたいと思っています。テレビとラジオで見たり聞いたりして、日本選手の活躍を応援します。

僕はこのオリンピック・パラリンピックが、東京に決まった時から思っていました。日本は災害の多い国です。開催期間中に災害が起きなければ良いなと思っています。何とか無事に全ての競技が、終える事を祈っています。